

令和7年度 わかば福祉会 基本方針

1. 基本方針 ―「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざし―

わが国は人口減少社会を迎え、令和6年度発表の人口動態統計では、合計特殊出生率が8年連続で前年を下回り、過去最低を更新。富山県でもこれまで増加し続けた保育所の利用児童数が令和7年には横ばいになることが見込まれている。あわせて、地域の子育て家庭が抱える問題は、地域からの孤立、児童虐待やこどもの貧困など複雑多様化し、その対応が大きな課題となっている。

令和6年度、国においては「保育政策の新たな方向性」を公表し、これまでの待機児童対策を中心とした「保育の量の拡大」から、「質の高い保育の確保・充実」等への転換を公表した。この「保育政策の新たな方向性」に基づき、地域の課題に応じた提供体制の確保、職員配置基準の改善などが進められることになる。また、「こども誰でも通園制度」については、「すべての子どもの育ちと子育て家庭の支援」を目的に、今年度は「乳児等通園支援事業」として事業化され、令和8年度からは給付事業として本格実施されることになる。

さらに人口減少が進むなか、保育所・認定こども園等をめぐる状況は厳しくなっており、地域のなかの保育機能をどう維持していくのか、一刻の猶予もない課題となっている。当法人は引き続き人口減少に伴う保育所・認定こども園等の状況把握と課題整理を行い、国に対し情報提供や要望を継続して実施していく。あわせて、「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の次期改定に対応すべく活動を展開していくことが必要となる。

保育の質の維持・向上に向けては、保育人材の確保、育成、定着が喫緊の課題であり、必要な予算の確保に向けて国に対する要望活動を引き続き行う。

（１）子どもの最善の利益を守るための取組

子どもの最善の利益を守るため子どもの代弁者として国への提言・要望活動を行う。また、子ども・子育て家庭を支える保育士・保育教諭等の働き方改革を含む処遇改善等を引き続き要望していくとともに、保育の魅力・役割・責任・専門性を社会に発信していく。

（２）人口減少に伴う保育課題への取り組み

人口減少に伴う保育課題は、全国的な課題である。国においては、「保育政策の新たな方向性」において、「人口減少地域における保育機能の確保・強化」を明記し、令和7年度予算（令和6年度補正予算で前倒し実施）において「過疎地域における保育機能確保・強化のためのモデル事業」の実施も予定している。保育所・認定こども園等は子どもの育ちと地域の子育て家庭を支える重要な社会資源であり、地方自治体が責任をもって維持することなど、保育の場の確保ができる施策が実現されるよう国に対し、提言・要望を実施していく。

（３）認定こども園の取り組みの強化

令和6年度実施の調査結果をもとに認定こども園の課題と独自の要望事項を整理する。また、認定こども園の視点から保育所が要望すべき事項についても整理し、必要に応じて認定こども園他団体との協力関係を構築しながら、国への提言・要望につなげる。

（４）転換期における制度政策への対応

令和6年度、国では保育士等の処遇改善、職員配置基準の改定が行われた一方、「こども誰でも通園制度」の本格実施に向けた検討が進められており、保育DXや経営実態の見える化の推

進、こども性暴力防止法の施行に向けた検討など、子ども制度・政策は大きく変化している。そのようななかにあつて、本会では諸制度の動向を注視し、必要に応じ他団体とも協議しながら、国に対し現場の実情を共有しつつ、必要な提言・要望を行うとともに、会員に対して迅速な情報提供を実施する。

(5) 組織基盤の強化、財務状況健全化

組織基盤の強化・財務状況の健全化に向けた取り組みを実施していく。保育を取り巻く環境・制度が大きく変化し、さまざまな自然災害が毎年のように起こるなか、人材の確保・定着、経営幹部の養成と財務強化は最重要課題である。

(6) 保育に携わるすべての者の質の向上に向けた研修の充実と、必要な情報提供、福祉サービス第三者評価制度の利用等、会員保育所（園）・認定こども園へ一層の支援を進める。

(7) 保育ソーシャルワーク研修等を通じて、相談援助技術の向上を図るよう支援を進める。

(8) 富山県幼児教育センターと連携し、幼児教育施設訪問研修を積極的に活用するとともに、小学校との連携をより一層図るために幼児教育推進リーダー等への協力を行う。

(9) 子ども主体の保育実践・子どもの権利擁護のために、こどもの虐待・不適切保育の根絶に率先して取り組む。

当法人は富山県幼児教育センターや富山市社会福祉法人連絡協議会とともに「質の高い幼児教育」の実現と地域共生社会実現をめざす一翼として、地域における公益的な取り組みに積極的に取り組み、社会福祉法人としての役割を発揮するものである。

当法人は、常に「親子の幸せに貢献する」ために何をなすべきかを考え、各種事業に邁進するものである。

【法人の重点事項】

- ① 能登半島地震を教訓として災害支援対策に取り組むとともに、子どもや子育て家庭を含む地域のすべての方々への支援など、社会の要請や地域ニーズへ対応した保育の取り組みや事業等の展開を進める。
- ② 子育て関係者など広く県民や地域社会に向けて保育所（園）・認定こども園の機能・役割についての理解を広げ、子育てしやすい社会を支える取り組みを進める。
- ③ 地域において会員保育所（園）・認定こども園が中心となり「保育の出前」活動に積極的に取り組み、子育ての喜びや楽しさを伝えとともに、子育てニーズや問題発見・発掘に努め、各種団体との連携により解決を図ることができるよう支援する。
- ④ 保育に携わるすべての者の質の向上に向けた研修の充実と、必要な情報提供、認定こども園へ一層の支援を進める。
- ⑤ 保育ソーシャルワーク研修等を通じて、相談援助技術の向上を図るよう支援を進める。
- ⑥ 富山県幼児教育センターと連携し、幼児教育施設訪問研修を積極的に活用するとともに、小学校との連携をより一層図るために幼児教育推進リーダー等への協力を行う。
- ⑦ 子ども主体の保育実践・子どもの権利擁護のために、こどもの虐待・不適切保育の根絶に率先して取り組む。
- ⑧ 富山市認定こども園協議会の強化を図るとともに富山県保育連絡協議会の事業の連携を図る。

2. 会 議

評議員会・理事会 必要回数

令和7年 6月（令和6年事業報告、決算等）

令和8年 3月（令和7年度補正予算、令和8年度事業計画、予算等）

3. 役員会等

- (1) 施設代表者会議 【原則として月 1 回開催】
- (2) 監事会 【期日：6 月（令和 6 年度事業報告及び決算監査）】
- (3) 事務部会議の充実
- (4) 放課後児童健全育成事業運営委員会【クラブごとに年 1 回実施】
- (5) 第 3 者委員会（各保育園単位）

4. 事業内容

- (1) 法人内研修の充実（全体研修、各園全体ゼミ）
- (2) 8 園の協力体制の確立と中長期計画の策定
- (3) 保育事務、保育打合せ、記録等就業時間内業務遂行をめざす
- (4) 未来委員会活動の推進
- (5) 事業規模を拡大し、安定経営をめざす
- (6) 「保育の出前」・地域子育て支援の推進
- (7) 「14 歳の挑戦」等次世代の子育ての担い手養成や子育てボランティアの受入れと育成
- (8) 保育教諭等の人材の確保・定着・育成
 - ・「長期雇用臨時保育教諭の処遇の抜本的改善」
 - ・新人研修の強化
- (9) 個配・医療的ケア児の方針の充実と医療的ケア児保育の実施
- (10) 給食の完全自主献立の推進
- (11) 児童館指定管理に応募する
- (12) 新たな富山市公立保育所民営化について検討する

5. 環境の整備

はりはら保育園の修繕計画の策定

6. 表彰の推薦

富山市認定こども園協議会、県社協会長表彰、全保協会長表彰等について、保育所運営及び本会事業貢献者等の推薦を行う。

7. その他

市と県の保育組織・経営組織との連携、協働関係の推進及び関係行政との連絡調整、地域子育てネットワーク構築のため地域関係機関・組織との連携、協力を進める。子ども食堂の支援。

令和7年度 事務部 基本方針

ー地域における「育て・育ち」の安心安全な居場所づくりー

1. 運営体制

- (1) 法人の一体的運営・行政対応の一元化
- (2) コンプライアンス及びリスク管理体制の強化
- (3) 広報・宣伝業務の計画・立案
- (4) 中長期計画の見直し
- (5) BCP（事業継続計画）の見直し
- (6) 新規事業
- (7) 新たな公益事業及び他業界・業種との連携…資源の抽出
- (8) 階層別到達目標の明示…階層別に業務割り当て
- (9) SDGs の取り組み…各施設の取り組み状況把握
- (10) その他必要な業務

2. 労務管理

- (1) 職務分担・業務フローの明確化…階層別に業務割り当て
- (2) ノンコンタクトタイムの確保…ノンコンタクトタイム確保体制整備
- (3) 給与業務の正確・期限厳守・円滑化
- (4) 広域的な人材確保方策の推進
- (5) ICT ソフトによる業務効率化…利用ソフト統一準備
- (6) その他必要な業務

3. 財務管理

- (1) 財政基盤の強化
- (2) 月次会計の迅速化
- (3) 適正な予算執行
- (4) その他必要な業務

令和7年度 基本方針 わかば保育園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の 為に	☆保育の質の向上をめざして☆ 昨年に引き続き、職員構成が若く、中堅世代も子育て真っ最中ということもあり、それぞれの経験を大切に、「今」「未来」を共に考え、協働的な保育を進めていきたい。また、新たな風を取り入れる機会を大切に捉え子どもの姿・心に寄り添い、主体的に遊べる環境設定、日々の生活や行事の中での育ちのねらいを皆で考えていく。 ☆保護者とともに☆ 見守りが必要な家庭、個別配慮児へ専門的対応など難しいケースが増えているが、保護者に寄り添い、思いを共有し子どもの成長を日々伝える事によって保護者自身の子育ての力、楽しさを共に分かち合える
2、施設の役割・あり方	☆地域への貢献と関係機関との連携 地域貢献は、できることからと考え引き続き、地域民生児童委員、高齢者施設訪問、支援センターとの連携強化し子育て講座や相談業務、地域の親子の現状など共有し、強み・課題を話し合う事で、園として貢献できることを考えていく。小学校との連携や個別に配慮が必要な子どもの育ちを大切にし、保健センターや恵光学園、県リハ等との連携継続、見守り家庭等、市役所や児童相談所との情報共有を強化していく。
3、人材育成・研修	☆子どもも職員も“楽しい”育ちあう職員集団に 職員間のコミュニケーションを大切にして信頼関係を構築していく。また、若手職員や臨時・パート職員も共に考え思いを活発に伝えあえる事ができる各種会議の持ち方を工夫し、子ども・保護者理解、共に働く同僚理解を深められるよう、前向きな意見が言いやすい風通しの良さと、共感することを大切にしていく。 ☆リーダーの育成・若手職員の育成と研修制度 各部門の現状や課題を話しあう機会を多く持つことで業務に対する役割を確認し、互いの保育観や職員の思いなど各職員が必要なスキルに応じた研修に参加できるよう配慮する。
4、働き方改革と処遇改善	☆働きやすい職場環境にするためのさらなる工夫☆ 定期的に職場アンケートを実施し、職員の意見の吸い上げを行う。家庭の事情を配慮し、多様な働き方があることを職員間で理解、尊重しフォローしあえるようにする。ノー残業ディの実施の継続。事務時間確保とノンコンタクトタイムを基本に、確実に休憩をとる事、年次休暇取得率向上に努めたい。また日々の教育・保育の振り返りの時間がとれるようにしていく。 ☆にこにこ園との連携 連携園として柔軟な人員配置や行事の参加、進級等を見据えた交流、などより確実な協力体制の強化を図る。
5、施設改修等	☆日々改善・見直しの積み重ね☆ 園内安全点検の強化（劣化、不具合等）樹木の手入れ、床ワックスがけ等

令和7年度 行事予定表

わかば保育園

行事名	日程（予定）	参加クラス
進級式	4月 1日（火）	幼児クラス
入園式	4月8日（火）	新入園児、途中入園児
春の遠足	4月 2 2 日（火）	年長
	5月 2 7 日（火）	年中
	5月 2 8 日（水）	年少
年長お泊り保育	5月22日（木）～24日（土）	年長
保育参観（幼児）・ 父母の会総会	6月 7 日（土）	父母の会総会
竹馬作り	7月 5 日（土）	年長児親子
夏祭り	7月10日（木）～11日（金）	全園児
保育参加	7月22日（火）～28日（月）	幼児クラス
同窓会	8月13日（水）	卒園児
年中お泊まり保育	9月 5 日（金）～6日（土）	年中
運動会	10月 4 日（土）	幼児クラス
いもほり	10月 7 日（火）	年長
遠足（2歳児）	10月 9 日（木）	2歳児（めろん組親子）
	10月 1 0 日（金）	2歳児（ぶどう組親子）
秋の遠足（幼児）	10月 1 5 日（水）	幼児クラス
保育参加	10月20日（月）～2 4 日（金）	0, 1歳児クラス
保育参加	11月4日（火）～7日（金）	2歳児クラス
4・5歳児 生活発表会	1 2月 6 日（土）	幼児クラス
3歳児生活発表会	1 2月 2 3 日（火）	3歳児クラス
2歳児生活発表会	1 2月 2 4 日（水）	2歳児クラス
雪遊び遠足（年長）	1月 1 9 日（月） 予定	年長児親子
ねはんの集い	2月 1 3 日（金）	年長児
お別れ会	3月 6 日（金）	全園児
卒園式	3月 1 4 日（土）	年長

★個別懇談会 春：乳児年長児（希望者） 秋：全園児

★運動能力測定は、6月と10月に実施（幼児クラスのみ）

★健康診断・歯科検診・はどちらも春・秋に各1回実施

★眼科検診・視力検査は春1回、視力検査は春・秋に各1回実施（視力・聴力は満3歳以上）

★身体計測は月1回実施

★検尿は年1回

★誕生会は月1回実施

★交通安全指導は月1回実施

★避難・災害訓練（火災・災害）は月1回実施、不審者対応避難訓練は年3回実施

★体育指導は月1回実施（3歳以上児のみ）外部講師

★音楽指導（どれみ♪タイム）は月1回実施4.5歳児のみ）外部講師

令和7度 基本方針 はりはら保育園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現 の為に	※保育の質を高めよう 「安心と挑戦」を土台にこどものウェルビーイングを高めよう ～想いが伝わる保育（職場）環境を目指して～ ・保育の現場で、子どもが生き活きと安心して過ごすためには、保育者同士の関係が和やかに保たれることが必要である。経験や保育に対する想いは様々ですが、職場の人間関係をよりよくするためには、コミュニケーション力を高めていくことが大切である。一人一人を認め合うことは職員・子ども達の主体性も育まれていくことに繋がっていく。 ・子どもの行動1つ1つに意味があること「感じている」ことを大切に關わると子ども自身が学ぶ意欲にも繋がる。子どもへの理解が深まると保育の質も変わっていくので子どもの姿をまんやかに話し合いを大事にしていく。行事のあり方も目的を見つめ直していく。 ・子どもは安心できる環境や大人の援助によって様々なことに「挑戦」していけると考える。チャレンジは新たな遊びを生み、さらに学びも深まる。子どもが自分でやりたい！と思える環境作りを考え、興味関心を広げながら心を育んでいこう！ ※保護者とともに ・子どもの育ちやその意味を丁寧に伝え、共に喜び合う事を大切にする保育園側の思いだけにならないよう傾聴・伝えるスキルを身につけ、保護者と日々子どもの姿を話しながら、家庭と共に子どもの自己肯定感の向上を目指す。全体ゼミで学んだドキュメンテーションを取り入れ共有できるようにしていく。
2、施設の役割 あり方	※地域の子育て支援の場としての役割強化 ・保育園の魅力を発信していきながら支援の場として役割を強化する。 ※針原地区唯一の幼児施設としての役割強化 ・富山県リハビリテーション病院、嘱託医との連携はもちろんだが、子どもの育ちにおいて専門機関・小学校との連携もさらに深め、子どもの発達を多方面から支援していく。医療ケア児受け入れ体制を整える。
3、人材育成・ 研修	※リーダーの育成 保育者の主体性も認めあい課題や議題に対する意見を持ち寄り、話し合う中でそれぞれが自分の役割を自覚し、リーダーシップを発揮できるようにする。今年は講師の先生を招いて研修したい。 ※おおいに語り合う会議・ゼミにしよう ・保育のあたりまえや日々の保育の振り返りをもとに保育の語り合いを大事にしていく。ドキュメンテーションを取り入れていく。
4、働き方改革と 処遇改善	※ICT 化実現 ・職員の業務負担を軽減し子どもと向き合う時間を確保する。 ※有給休暇の積極的取得推進 ・継続的に計画的な有給取得をはかる。働き方改革として休憩時間確保と事務時間をとれるよう努めていきたい。
5、施設改修等	※園舎等の整備 ・築年数が古く、様々な部分に支障が出てきているが、中長期計画を視野に入れながら子どもにとっての動線や魅力ある環境地域に必要なとされる園舎づくりを考えていく。園庭、学童園庭、職員駐車場の地盤の水はけが悪く水たまりが1年を通して常にあるため、子ども達の足場を解消していきたい。

令和7年度 はりはら保育園年間行事予定

予定月日	行 事 名	年 齢
4月11日(金)	入園式	新入児 ・途中入園児
4月25日(金)	そら春の遠足・芋の苗植え	年長
5月8日(木)	にじ春の遠足	年中
5月9日(金)	ほし春の親子遠足	年少
5月15日(木)・16日(金)	そらお泊まり保育	年長
6月13日(金)	ザリガニ釣り	年長
6月18日(水)・19日(木)	親子竹馬づくり	年長
7月3日(木)・4日(金)	こども夏祭り	幼児
7月7日(月)	七夕の集い ・年中祖父母参観	全園児
9月	にじ親子野外活動	年中
9月	来拝山登山	年長
9月	わをんコンサート ・年長祖父母参観	幼児 年長
10月11日(土)	運動会	幼児
10月22日(水)	2歳児遠足	2歳児
10月23日(木)	ほし秋の遠足	年少
10月24日(金)	にじ秋の遠足	年中
10月30日(木)	そら芋ほり遠足	年長
11月11日(火)	焼きいもパーティー	全園児
11月28日(金)	ほし・にじ生活発表会	年少・年中
12月12日(金)	そら生活発表会	年長
12月19日(金)	クリスマス会	全園児
1月9日(金)	新年お楽しみ会 ・年中祖父母参観	全園児 年中
1月	年長冬の親子遠足	年長
2月3日(火)	節分の集い	全園児
2月13日(金)	すもう大会	年中・年長
3月3日(火)	ひなまつりの集い 年少祖父母参観	幼児 年少
3月6日(金)	おわかれ会	全園児
3月11日(水)	祖父母感謝の集い	年長
3月14日(土)	卒園式	年長

令和7年度 基本方針 しんでん保育園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現 の為に	※保育の質の向上をはかろう - 子どもだけではなく、保育者も保育の主人公になれるよう、子ども・保育者一人一人の特性を活かすことを大切に、多様性を認め合う集団作りをしていく。違っている事が面白いと感じながら、対話を大切に保育していく。 - 子どもの主体性や権利を尊重することを大切に、自分の保育を振り返り、現状で満足せず自分の保育をアップデートする心をもつ。子どもの声に共感し、尊重する保育を心がけたい。また子ども達一人一人を多面的にとらえ、認めながら丁寧な保育も心がける。 - 食は命につながる。「食べることが好き」な子どもを育む。 ※保護者とともに - 常に保護者の味方であるという姿勢を持ち、子どもたちのかわいいエピソードを伝えていく中で、保護者の子育て力を育み、ともに成長を喜び合いたい。
2、施設の役割・あり方	※地域との交流・連携 - 空き教室を利用して開催を始めた週1日開催の『子育てルーム ふらっと』を『子育てサロン ふらっと』として週5日地域の子育て世帯に向けて開放する。その中で、保護者が中心になって進めるものも開催できたらと考える。出生数が減少している八尾町の中で、しんでん保育園としての特色をアピールする場にしていく。 - 小学校との連携をより深め、年長～1年生までの接続カリキュラムを共に考え、保育教諭と小学校教諭とで子どもの姿を共有し子どもの育ちにつなげていく。 - 県リハ、恵光学園、富山市まちなか総合ケアセンター等関係機関との連携を強化し、子どもの発育を多方面から支援していく。 - 引き続き地域ボランティアの方と稲作・野菜作りを協力しながら計画的に行い、SDGsにもつなげる。
3、人材育成・研修	※育ち合い・認め合う職員集団に - 日々子ども達の姿を語り合う事を大切に、子どもへの共通理解を深めることができる職員集団を目指す。保育観の違いはあっても、お互いの思いをわかってもらう、わかり合おうとすることをあきらめない関係づくりをしていく。また職員一人一人が自身の持つリーダーシップを発揮できるよう、協働的な職場環境を作っていく。 - クラスミーティングの中では一人一人の職員が安心して自分の思いを発言できるように、また相手の思いを聴くことを大切に、お互いの思いの理解を深め、違いを感じながらもつながる保育をしていきたい。 - 職員一人一人がそれぞれのスキルアップのために必要な研修を受けられるようにする。また全体ゼミの中で、日々の保育の振り返りや見直しをし、園全体の保育力のアップデートを図る。
4、働き方改革と処遇改善	※より働きやすい職場環境を目指して - 業務支援アプリによる事務負担のさらなる軽減を図る。 - 年次有給休暇取得率は令和5年度同様を目指す。 - 事務時間・ノンコンタクトタイム取得。
5、施設改修等	※安全・安心の見直し・改善点 - 幼児保育室のエアコンの入れ替え - 備蓄品倉庫の新設

令和7年度 行事予定表

しんでん保育園

行事名	日時（予定）		参加年齢	弁当	保護者・祖父母 参加行事
進級式	4/1	火	幼児クラス		
入園式	4/8	火	新入園児・年長児・新入園児保護者		★
保育参観・保護者会総会	4/25	金	全園児・保護者		★
春の遠足	4/17	木	年長児	○	
	5/15	木	年中児	○	
	5/22	木	年少児	○	
年長お泊まり保育	5/16～5/17	金～土	年長児		
芋の苗植え	5月		年長児		
クラス懇談会	5/30	金	年長児保護者		★
花の苗植え	6/2	月	年長児と保内地区民生委員さん		
こども夏まつり	7/10～7/11	木～金	全園児		
同窓会	8/2	土	卒園児		
ナイト保育	8/29	金	年中児	○	
運動会	9/27	土	幼児クラス		★
芋ほり	10月		年長児		
来拝山登山	10/10	金	年長児		
秋の遠足	10/16	木	3歳以上児	○	
2歳児遠足	10/22	水	2歳児	○	
球根植え	11/4	火	年中児と保内地区民生委員さん		
生活発表会	12/6	土	幼児クラス・保護者		★
クリスマス会	12/23	火	全園児		
冬の遠足			年長児・保護者		★
節分のつどい	2/3	火	全園児		
ひなまつり	3/3	火	全園児		
ありがとうの会	3/6	金	年長児・祖父母		★
お別れ会	3/10	火	全園児		
卒園式	3/14	土	年長児・保護者		★

◎内科検診・歯科検診…春、秋各1回 眼科検診…春1回

◎視力検査…春、秋各1回 聴力検査…年1回 ◎検尿…1回

◎身体計測…月1回 ◎運動能力測定…5月、10月（幼児クラス）

◎災害避難訓練・交通安全指導…月1回、不審者対応避難訓練…年3回

◎体育指導…月1回（幼児クラス）

◎絵画教室（年中児） お話の会（幼児クラス） サッカー教室（年長児） ♪おとものり（年長児）

◎個別懇談会…年1回 年長児年2回 希望者は随時

◎保育参加…年齢ごとに日程を決めて年1回実施

★は保護者・祖父母参加行事（自由参加）

令和7年度 石金こども園 行事予定表

行事名	日程	対象クラス
進級式	4月8日（火）	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
入園式	4月11日（金）	新入園児・途中入園・保護者
春の遠足（年長）	4月24日（木）	A. 年長児
保育参観・保護者会総会	5月10日（土）	幼児・保護者・保護者会総会
春の遠足（年中）	5月15日（木）	B. 年中児
春の遠足（年少）	5月21日（水）	C. 年少児
お泊り保育（年長児）	5月29日（木）～5月30日（金）	A. 年長児
交通安全教室	6月11日（水）	A. 年長児・B. 年中児
プラネタリウム（年長児）	未定	A. 年長児
保育参加（年中・年少）	6月24日（火）～6月27日（金）	B. 年中児C. 年少児
保育参加（年長）	7月1日（火）～7月4日（金）	A. 年長児
七夕の集い	7月7日（月）	全園児
夏祭り	7月16日（水）～7月17日（木）	全園児
フラワー保育参加	7月23日（水）～7月25日（金）	ちゅうりっぷ・さくら・こすもす・ばなな
高齢者給食会	未定	A. 年長児
同窓会	8月2日（土）	卒園児（1～3年生）
防火教室	未定	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
防犯教室	未定	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
個別懇談会	8月18日（月）～22日（金）	A. 年長児保護者（全員）・他➡希望者
運動会C. あじさい	9月17日（水）	C. 年少児（あじさい）・保護者
運動会C. ゆり	9月18日（木）	C. 年少児（ゆり）・保護者
運動会C. ひまわり	9月19日（金）	C. 年少児（ひまわり）・保護者
秋の遠足（2歳児）	9月25日（木）	ちゅうりっぷ
秋の遠足（2歳児）	9月26日（金）	こすもす・さくら
運動会A・B	10月11日（土）	A. 年長児・B. 年中児・保護者
ミックス保育参観	10月15日（水）～17日（金）	りんご・いちご・もも
秋の遠足C	10月20日（月）	C. 年少児
秋の遠足A・B	10月21日（火）	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
やきいもパーティー	10月29日（水）	全園児
高齢者給食会	未定	A. 年長児
3歳児生活発表会	11月14日（金）	C. 年少児・保護者
生活発表会（4.5歳児）	12月6日（土）	A. 年長児・B. 年中児・保護者
2歳児発表会	12月18日（木）	2歳児・保護者
クリスマス会	12月22日（月）	全園児
新年お楽しみ会	1月9日（金）	全園児
冬の自然体験	未定	A. 年長児
節分のつどい	2月3日（火）	全園児
成田山節分会	未定	A. 年長児
ひな祭り会	3月3日（火）	全園児
お別れ会	3月11日（水）	A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児
祖父母感謝の集い	3月12日（木）	A. 年長児・祖父母
卒園式	3月14日（土）	A. 年長児・保護者

※検尿は年1回

※誕生会は園児の誕生日に各クラスで実施

※避難訓練（火災と災害）は月1回、不審者対応避難訓練は年4回実施

※交通安全指導は月1回実施

※個別懇談会は年1回実施（A. 年長児保護者全員）（他のクラス希望者）

※体育指導は年10回実施（A. 年長児・B. 年中児・C. 年少児）

令和7年度 基本方針 下堀こども園

ねらい	施策
1、保育の質を高める	★子どもとの日常を大切にしていく。 ・日々の保育を大切にしながら、子どもの主体性を尊重した保育を実践し、遊びから行事への繋がりを大切にしていく。 ・養護を基盤とした月齢別の保育を進める。(未満児は月齢別のクラスとし、少人数でゆったりとしたかかわりを大切にしていく) ・インクルーシブ保育の推進。のんびりばやしを有効活用し、個別配慮児の落ち着ける環境の見直しと人材の確保をする ・おいしい給食の提供～給食室と保育室を身近に繋げる食育活動の推進 ・保育者は子どもの心地よい身近な目標となるよう、思いやりを持った行動をし、正しい言葉を選んでかかわっていく。 ★保護者の子育ての伴走者となる ・園の行事に参加してもらうだけでなく、日々の保育についても子どもの姿を伝え共有できるようにする。 ・保護者を尊敬し、コミュニケーションをとりながらよりよい関係を築く。
2、施設の役割・あり方	★地域の子育て支援の場としての役割の拡充 ・年齢別（月齢）に分かれての親子サークルを実施。地域の子育て家庭の集いの場としての役割を果たしていきたい。 ★関係機関との連携を深める ・小学校との情報共有や学び合える場作り、特に年長から1年生までの2年間を見据えたアプローチプログラムの見直しとスタートプログラムへの接続を重視しさらなる連携を深める。 ・個別配慮児は園全体でフォローしていけるよう、関係機関との連携を取りながら“作戦会議”の定例化を継続し、支援の幅を広げていく。
3、人材育成・研修	★お互いを認め合える職員集団を目指して ・温かい人間関係のもと、「お互いを思いやる気持ち」を大事に働けるよう配慮する。 ・新人職員の育成。 ★こども理解を深める ・子どもの事を話す場を設ける ・発達や保育について学ぶことが出来るよう、園内研修を工夫し充実させる
4、働き方改革と処遇改善	★仕事の効率化・体制作り ・職員の健康に目を向け、リフレッシュできる場を工夫する ・放課後学童支援員資格の取得促進
5、施設改修等	★子どもたちの笑顔輝く“安心安全”の見直し ・保育室・広場他に、下堀こども園ならではの魅力的なスペースが多くある分、各箇所の年齢に応じた配慮や遊び方のルールをしっかりと職員で再確認し共有していく必要がある。ヒヤリハット記録や日々の朝礼等で 伝え合う習慣をつける。
6、その他	・高所や暖炉の清掃 ・園庭芝生手入れ、雑草対策 ・床のワックスかけ

令和7年度 行事予定

下堀こども園

行事名	日程	対象クラス
進級式	4月1日（月）	幼児
入園式	4月8日（火）	途中入園児・新入園児・保護者
春の遠足（年長）	4月18日（金）	年長
春の遠足（年中）	5月8日（木）	年中
春の遠足（年少）	5月9日（金）	年少
保育参観	6月6日（金）	全園児
お泊り保育	6月19日～20日（木・金）	年長
交通安全教室	6月23日（月）	幼児
防火教室	6月26日（木） 予定	幼児
七夕の集い	7月7日（月）	全園児
ナイト保育	7月18日（金）	年中
夏季午睡	7月16日（月）～	年長・年中
竹馬作り	7月9日～11日（水～金）	年長親子
なつまつり	7月11日（金）	全園児
運動会	9月21日（土）	幼児
秋の遠足（年中）	10月9日（木）	年中
秋の遠足（2歳児）	10月16日（木）	2歳児
秋の遠足（年少）	10月23日（木）	年少
来拝山登山	10月17日（金）	年長
生活発表（年中）	11月27日（木）	年中
生活発表会（年長）	11月28日（金）	年長
2歳児生活発表会	12月4日（木）	2歳児
3歳児生活発表会	12月5日（金）	年少
クリスマス会	12月17日（水）	全園児
新年お楽しみ会	1月15日（木）	全園児
お別れ親子遠足	1月30日（金）	年長親子
節分の集い	2月3日（火）	全園児
ひな祭り会	3月3日（火）	全園児
おわかれ会	3月6日（金）	全園児
卒園式	3月14日（土）	年長
修了式	3月24日（火）	幼児
家庭訪問・個別懇談会	※未定	全園児
保育参加	※未定	全園児

※検尿は年1回 歯科・内科検診は年2回 眼科健診は年1回

※誕生会は月1回実施 ※交通安全指導は月1回実施

※避難訓練(火災と災害)は月1回、不審者対応避難訓練は年4回実施

※絵画教室（年中）月1回実施 ※どれみタイム（音楽リズム）（年中・年長）は月1回実施

※体育指導（幼児）は年9回実施

令和7年度 基本方針 わかばにこここ園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の 為に	<u>◎安心、安全、家庭的な雰囲気大切に</u> - 子ども達にとって居心地の良い空間となるよう、まずは職員同士のコミュニケーションを大切にしていける。小規模保育の良さを活かしながら、子ども主体の丁寧な保育を心がける。 - 職員全体で子どもの成長を喜びあい、一人一人の個性を大切にし、日々の温かな会話を大切にしていきたい。 - 保護者の不安や心配を考慮しながら、少しでも多くの園内情報を発信していけるようスピード感をもって対応していきたい。
2、施設の役割・あり方	<u>◎地域に根ざした暖かい保育園づくり</u> - 神宮寺にお参りの方や地域の方、業者さんの訪問や電話対応など、職員一人一人が明るくきちんと対応することを心がけていきたい。又、基本的な事ではあるが、職員の言葉遣いや身だしなみにおいても再度確認し、イメージを大切にしていきたい。 - 施設見学の親子は緊張しながら訪問される方もいるので、温かく迎え入れ、一時保育や支援センターの存在を知らせながら情報提供を心がけたい。
3、人材育成・研修	<u>◎0、1、2歳児一人一人の『らしさ』を追求する</u> - 職員全体で乳児保育の学びを深める機会を積極的に行っていきたい。子どもの月齢にあった対応は、発達優先をすることではなく、子どもに寄り添った保育をするということをモットーに取り組んでいく。又、「させなきゃいけない」という誤った保育とならないよう話し合っていきたい。その中で、子ども一人一人の「らしさ」を認め、「その子の良さ」として見守っていけるような雰囲気づくりをしていきたい。 - 職員一人一人の気づきやアイディアを活かし、園全体で楽しみながら、達成感と自信に繋げていけるよう盛り上げていきたい。
4、働き方改革と処遇改善	<u>◎様々な働き方と効率の良い仕事</u> - 面談等を行い、職員の様々な働き方を理解し、協力しながら働きやすい環境を整えてく。又、事務時間のとり方を工夫し、効率の良い仕事ができるように配慮する。 ☆わかば保育園との連携 - 連携園として行事の参加、進級等を見据えた交流を行い、より確実な協力体制の強化を図る。
5、施設改修等	<u>◎保育を充実させるための環境作り</u> 経年劣化による施設をできる限り、修繕等を行う。

令和7年度 行事予定

★わかばにこにこ園★

行事名	日程(予定)	参加	備考
ファミリーデー	5/23(金)	全保護者にプレゼントを渡す	
年齢別懇談会・給食参観	5/29,30(木、金)	全保護者	
個別懇談会	6/23(月)～6/27(金)	希望者のみ	PM13:30～15:00の間で行います。
七夕の集い	7/7(月)	全園児	
水遊びお約束会	7/9(水)	全園児	
夏祭り	8/1(金)	全園児	
親子遠足	9/26(金)	全園児・保護者	
にこにこ運動会	10/10(金)	全園児	
3園合同遠足	10/16(木)	2歳児	お弁当持参
ハロウィンパーティー	10/31(金)	全園児	
保育参加	11/10～11/14(月～金)	全園児	
クリスマス会	12/19(金)	全園児	
新年おたのしみ会	1/9(金)	全園児	
2歳児個別懇談会	1/26(月)～1/30(金)	2歳児全保護者	PM13:30～15:00の間で行います。
節分の集い	2/3(火)	全園児	
お店屋さんごっこ	2/20(金)	全園児	
ひな祭りの集い	3/3(火)	全園児	
ありがとうお別れの会	3/19(木)	全園児	
新年度準備	3/31(火)	18:00までのお迎えをお願いします。	

★わかば保育園の行事★		※土曜日は合同保育のためご協力お願いします	
☆わかば運動会	10/4(土)		保育なし
☆生活発表会	12/6(土)		保育なし
☆職員研修	2/14(土)		午後保育なし
☆卒園式	3/14(土)		午後保育なし

※避難訓練(火災と災害)は月1回、不審者対応訓練は年3回実施

※交通安全指導は月1回

※身体計測は月1回実施

※誕生会はお子さんの誕生日にあわせて一人ひとり行います。

令和7年度 基本方針 きぼう保育園

項目	ねらい・重点施策
1、質の高い保育の実現の為に	<u>1、子どもにとって居心地良い時間・空間に</u> 職員集団が大きく変化するが、小人数ならではの家庭的保育を継続して行う中で、子どもひとり一人に応じたきめ細かい、そして子どもの思い・発見・成長を見逃さずしっかり受け止められるような保育を心がける。 0.1.2歳児の異年齢の子どもたちがそれぞれの生活に無理のないように、入園時期、発達に応じて変化のある環境の工夫を行う。(人的環境、室内環境等) <u>2、保護者と一緒に子どもの成長を喜び合えるように</u> 必ず担任が会える利点を生かし、保護者の気持ちや悩みに寄り添い、共に子育てをし、共に育ち合う保育をめざす。またきっぷノートを活用して、リアルタイムに子どもの様子を伝えて安心して働いてもらえるようにする
2、施設の役割・あり方	<u>1、「ホクタテ」さんとのつながりを大切に</u> 園の状況を定期的に伝え、関係を今後も大切につなげていく。またホクタテの事業所内という位置づけを外部の方にも知ってもらうために、園のHPでお知らせし、説明を丁寧に詳しくできるように、職員に周知する。 <u>2、地域との交流を丁寧に</u> 園周辺を散歩したり、公園に行ったりと出掛ける機会を多く持つ中で、地域の方と挨拶を交わす等、触れ合いを大切にしていく。
3、人材育成・研修	<u>1、「乳児保育」の大切さを常に意識しながら</u> 乳児保育の学びをより深めこども主体の保育ができるよう、資料なども探して自己研鑽に励めるようにする。行事のあり方も新たな視点で考察する。 <u>2、話し合うことによって成長できる職員集団に</u> 定期的に時間を作り、また気になる事例があった時はすぐに発信して職員全員で話し合う機会を多く持つようにする。 それぞれの保育に対する考えは違うのは当たり前で、その中でお互いを認め合い、高め合えるような仲間になれるよう、意識していく。 <u>3、園内研修を充実させる</u> 参加した研修の学びを伝えあったり、書籍から参考になる文章を紹介したり、日々の中でも学ぶ姿勢を持つようにする。また他の園の研修に参加させてもらう等、同じ小規模保育園（他法人でも）と一緒に学ぶ機会を持つ。
4、働き方改革と処遇改善	<u>1、支えあう職場環境を模索する</u> 小さな職員集団の中でみんなが無理せず働けるよう、有給・振替休日・事務時間・保育の準備時間を取得できるように工夫する。
5、施設改修等	<u>1、ワンフロアを出来るだけ広く効率よく使う工夫の継続</u> 環境向上事業の活用 ホクタテさんの空き部屋の利用 <u>2、HP・SNSの運営</u> HPやインスタを無理なく活用して、園の広報的役割になるようにする。
6、その他	<u>1、さまざまな感染症対策のさらなる強化</u> <u>2、連携園の下堀こども園、石金こども園との連携</u> <u>3、小規模3ヶ園での連携・情報交換、また他法人の小規模園との交流</u>

事業所内保育事業A型 きぼう保育園

運営主体 (株)ホクタテ 設置主体 社会福祉法人わかば福祉会

連携施設 社会福祉法人わかば福祉会 下堀こども園 石金こども園

利用定員・令和7年度園児数 12名(内従業員枠7名 地域枠5名)

	0歳児	1歳児	2歳児	計	合計
従業員枠		1名	4名	5名	
地域枠		3名	1名	4名	9名

※令和7年4月1日現在

令和7年度 きぼう保育園行事予定表

日程	行事内容	参加
4月	お花見散歩	全園児
6月5日（木）	園外保育（歯科検診後）	全園児
6月・7月	保育参加	希望保護者
7月7日（月）	七夕の集い	全園児
7月14日（月）～	水あそび	全園児
9月	親子ふれあい運動会 （さくらんぼ園と合同）	全園児親子
10月16日（木）	2歳児遠足（さくらんぼ園と合同）	2歳児
10月31日（金）	ハロウィンパーティー	
11月	親子遠足	全園児親子
12月17日（水）	クリスマス会	全園児
1月15日（木）	新年お楽しみ会	全園児
2月3日（火）	節分の集い	全園児
2月後半	個別懇談会	2歳児保護者 1歳児希望保護者
3月3日（火）	ひなまつりの集い	全園児
3月後半（晴天）	お別れ園外保育	全園児
3月26日（木）	お別れ会	全園児 2歳児保護者

☆誕生会は個人に合わせて実施

☆身体計測は月1回実施

☆健康診断・歯科検診はどちらも春・秋に各1回実施

☆視力検査は満3歳のみ実施 ☆検尿は年1回

☆災害時対応訓練、交通安全指導は月1回、不審者対応訓練は年3回実施

令和 7 年度 基本方針 わかばさくらんぼ園

ねらい	施策
1、質の高い保育の実現の為に	◎安全、安心、居心地の良い空間を 乳幼児の発達は著しく、成長の個人差は大きい。その時々の子どもの発達に 応じて環境を組み立てながら家庭的な環境の中で、一人一人が安心感を得られ るよう工夫していく。保育士それぞれのアイディアを生かしながらメリハリの ある生活をし、満足感が得られるような保育を行っていききたい。又、子ども の気持ちに寄り添うことを怠らず、ゆったりとした心構えでいることも大切に していく。 子どもの成長と共にあらゆる危険も想定される。保育士同士が声を掛け合 いながら安全面に十分な注意を払い、常に緊張感をもち保育に取り組んでいく。
2、施設の役割・あり方	◎地域の方々に見守られながら ビルに囲まれ、ビル内にある当園では、様々な職種の方々と遭遇する。散歩 に出かけた際には元気に挨拶をし、「この地域にも小さな子どもたちがいるよ」 と PR しながら地域に密着していききたい。 園に通う子どもの家庭は、ほぼ核家族である。子育ての大変さを感じながら も悩みを抱え込む保護者が少なくないので、タイミングを図りながら保護者に 寄り添っていけるよう配慮していく。又、保護者同士のコミュニケーションの 場を設定していけるよう行事を工夫していく。
3、人材育成・研修	◎0,1,2歳児保育のポイントをつかむ 乳幼児の子ども達は小さいながらも思いがあり、個性があふれている。いや いや期真っ盛りの子どものほとんどで、日々の成長も著しい。保育士は子ども の発達を理解しながらその時々状況を見極め、保育室全体を見ながら瞬時に 役割分担をし、対応していくテクニックが必要である。子どもの成長に伴い、 関わり方がワンパターンにならないよう、日々の話し合いや振り返りを大切に していきたい。 職員は、できるだけ研修に参加したり、文献を読み合わせたりし、常に学ぶ 姿勢を維持していく。又、時にはたわいもない話から子どもの可愛い姿を共有 し、職員が一丸となって保育できるよう努めていく。
4、働き方改革と処遇改善	◎様々な働き方と効率の良い仕事 職員一人一人の働き方を理解し、協力しながら働きやすい環境を整える。事 務時間を定期的にとれるよう工夫し、効率の良い仕事ができるよう配慮する。 又、年次有給休暇も計画的にとるようにする。さくらビル 2 階のワークブース を利用しノンコンタクトタイムを確保する。体制に困った時は、石金こども園 やきぼう保育園と連携をとり安全に保育できるようにしていく。
5、施設改修等	◎快適、安全に過ごすために ホクタテビルメンとの話し合いを大切にしながら、子どもの安全を最優先に 取り組んでいく。

小規模保育事業 A 型

わかばさくらんぼ園

設置主体

社会福祉法人わかば福祉会

連携施設

社会福祉法人わかば福祉会 石金こども園

利用定員

定員 12 名

令和 7 年 4 月 1 日現在

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	合計
定 員	4 名	4 名	4 名	12 名
4 月入所児童数	1 名	2 名	5 名	8 名

令和7年度 行事予定 わかばさくらんぼ園

	日程（予定）	参加
保育参加	6/5（木） 6/6（金）	2歳児保護者 0, 1歳児保護者
七夕の集い	7/7（月）	全園児
個別懇談会	7月	希望者のみ
水遊び	7/14（月）～	全園児
夏祭りごっこ	8/21（木）、22（金）	全園児
親子ふれあい運動会	9月	全園児
2歳児遠足	10/16（木）	2歳児 （きぼう保育園と合同）
ハロウィン	10/31（金）	全園児
園外保育	11月	1, 2歳児
勤労感謝ウィーク	11/17（水）～	全園児
クリスマス会	12/19（金）	全園児
新年お楽しみ会	1/14（水）	全園児
個別懇談会	1月	2歳児全員
節分の集い	2/3（火）	全園児
お店屋さんごっこ	2/16（月）～	全園児
ひな祭り会	3/3日（火）	全園児
思い出散歩	3/23日（月）	全園児
お別れ会	3/25（水）	全園児
新年度準備	3/31（火）	

☆誕生会は園児の誕生日にあわせてお祝いします。

☆災害時対応訓練、交通安全指導は月1回実施。不審者訓練は年間3回実施。

☆身体計測は毎月計測。

☆検尿は年1回、5月頃の予定。

☆内科検診、歯科検診は春と秋の年2回実施。視力測定は満3歳のみ実施。

★5月3日、4日、5日、6日の連休は休園です。

★お盆中（8月13日～16日）は石金こども園での合同保育です。

★年末12月29日、30日、31日、は石金こども園での保育となり特別保育料金が
★年

★1月1日、2日、3日は休園です

令和7年度 事業計画書

わかば学童クラブ堀川園 A, B

子どもが安心して自分の思いや個性を発揮し、のびのびと過ごせる環境を基盤に堀川園の良さである集団遊び・戸外遊びを充実させていく。1～6年生が学年関係なく遊ぶ楽しさや年上への憧れ、年下へのいたわりの気持ちを生活や遊びを通して感じられる場所にする。トラブルになった場合は時には見守り、時には子どもと一緒に解決方法を考えることにより自分で考える力も育てていきたい。保護者の要望・相談等にもしっかりと耳を傾け子育ての支援や助言を行えるようにしていく。その他小学校との連携・地域の教育・健全育成に貢献できるよう職員一同で取り組んでいきたい。

基本方針 ～安心・安全な学童クラブを目指して～

- 1、 ほっと安心でき楽しい学童 ～「ただいま!」「おかえり!」を大切に～
- 2、 小学生の喜ぶ遊びの充実 ～自分たちで考えて工夫しよう～
- 3、 安全な環境づくり ～室内外の環境の見直し・帰り道に気を付けて!～
- 4、 個別に対応が必要な児童に対する適切な関わり ～安心して過ごせる空間に～
- 5、 保護者が安心して就労できる学童 ～何でも話し合える信頼関係を～

年間行事

- 4月 1年生歓迎会
 - 5月 春の園外保育（小学校振替休業日に予定）
 - 6月 野菜の苗植え
 - 7月 夏休み開始…実験、プール遊び、収穫クッキングなど
 - 8月 夏の園外保育
山びこキャンプ（立山青少年自然の家）
 - 9月 収穫クッキング
 - 10月 ハロウィンパーティー
 - 11月 秋の遠足
 - 12月 冬休み開始…クリスマス会、大掃除
 - 1月 雪遊び遠足（立山少年自然の家にて）
 - 2月 節分
 - 3月 お別れ会
- 他、避難訓練（年間4回予定）、誕生会、生活指導（適宜）など

校区別児童数

（単位：人）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	校区別 合計
蛭川小	23	21	22	16	6	9	97
その他	堀川 3 堀南 1 片山学園 1	堀川 1 熊野 2	片山学園 1	－	堀川 1	－	10
学年合計	28	24	23	16	7	9	107

令和7年度 事業計画(案)

令和6年度は、平日針原・新庄北・広田・三成小学校の4校の小学校が利用対象校だったが、令和7年度は三成小学校の利用児童が在籍しなくなったことから3校の利用となる。また針原地区の少子化で平日利用児童が少なくなったことや、保護者の要望の声が多いことから、針原・新庄北小学校の対象学年を4年生までに引き上げる。

違う学年・学校に通う児童たちが、学童で新たな集団・仲間作りをし、「第二の家」となるような家庭的な雰囲気の中で安心して過ごせるようにしていきたい。中には家庭で過ごしたいという児童もいるかもしれないが、自分で安心できる場所をみつけて一人でゆったり過ごしたり、友達と体を動かして思いきり遊んだりするなど子ども達がその日にしたいことを選択して過ごせる場を提供していく。

時には集団の中で意見の違いからぶつかり合ったり、感情のコントロールがうまくできなくなったりしてけんかになることもあるが、お互いの意見や感情に気付いたり、相手の気持ちを認めたりできるように手助けしていきたい。一人一人の生活環境や友達関係、情緒の揺れなどにも配慮し、子どもの意見や人権を尊重することで自分との違いを認め合える関係づくりを育成、支援していく。保護者の方々が安心して仕事にいけるように、細やかなコミュニケーションを取ながら、信頼関係を築いていけるように心掛けていきたい。

<主な年間行事>

4月	新1年生歓迎会	10月	運動会・ハロウィンパーティー
5月	園外保育	11月	園外保育
6月	制作	12月	クリスマス会
7月	科学遊び	1月	正月遊び・冬の遠足
8月	学童キャンプ・夏まつり	2月	節分の集い
9月	クッキング	3月	ひなまつりの集い・お別れ会

<令和7年度 はりはら園利用校下と登録児童数> 2月現在

	針原	新庄北	広田	合計
1年生	12	6	2	20
2年生	5	2	5	12
3年生	5	2	1	8
4年生	3	3		6
合計	25	13	8	46

※長期休暇のみ利用校下(卒園児対象)

	大広田	新庄	藤ノ木	合計
1年生	3	0	1	4
2年生	2	1	0	3
3年生	0	0	0	0
合計	5	1	1	7

令和7年度 事業計画書

わかば学童クラブ石金園

ここ東部地区の学童保育施設は「東部っ子広場（東部児童館）」と「ハレア学童保育エジソン」と2施設あるもののさらなる受け皿が必要となり、今年度より「わかば学童クラブ石金園」が始まる。まずは子ども達が安心して学童クラブを利用できるように環境を整えていく。職員が温かく子ども達を迎え入れ「第二の家」となるように家庭的な雰囲気の中、子ども達がのびのびと生活したり、遊んだりしていけるようにしたり、一人ひとりの個性を認め大切にしたりしていく。子ども達が「自分達の学童クラブ」と思えるように、それぞれの意見や思いを大切にしながら約束（ルール）や活動を決めていく。保護者の方にも安心して預けられるように学童での様子を伝えたり、時には相談等に応じながらコミュニケーションを図ったり、信頼関係を築いていく。その他、小学校との連携・地域の教育・健全育成に貢献できるように、職員一同で取り組んでいきたい。

基本方針 ～安心・安全な学童クラブを目指して～

1. ほっと安心でき楽しい学童 ～「ただいま」「おかえり！」を大切に～
2. 小学生が喜ぶ遊びの充実 ～遊び中心、子ども主体の保育～
3. 安全な環境づくり ～安全で過ごしやすい環境作り・帰り道に気をつけて～
4. 個別に対応が必要な児童への適切な関わり ～安心して過ごせる居場所に～
5. 保護者が安心して就労できる学童 ～何でも話し合える信頼関係を～

＜年間行事＞

4月	歓迎会	10月	ハロウィン
5月	春の園外保育(学校振替休日)	11月	秋の園外保育(学校振替休日)
6月		12月	冬休み開始 クリスマス会・大掃除
7月	夏休み開始	1月	正月遊び 冬の遠足(はりはら園合同)
8月	海水浴 山キャンプ(呉羽青少年自然の家)	2月	クッキング(お菓子作り)
9月		3月	お別れ会

他、避難訓練（年間4回予定）、誕生会、生活指導（適宜）など

＜令和7年度 石金園利用校下と登録児童数＞

	1年生	2年生	3年生	学校合計
東部小学校	8	1		9
山室小学校	3		1	4
合計	11	1	1	全13名

令和7年度 事業計画書

わかば学童クラブ下堀園 A・B

令和七年度も、まず子どもの安全と保護者の安心を第一に、小学生が心身ともにすこやかに過ごせる環境づくりを丁寧に行っていく。異年齢集団による育ち合いの良さが発揮されるように、1階と2階にそれぞれ1年生～3年生の異年齢クラスを編成し、4年生以上の高学年生は活動によって低学年の集団に混ざることができるようにする。しかしながら、年度初めは一年生の情緒の安定と環境への適応を重視するため、1階で1年生だけで過ごす時間帯を多くしていく。異年齢のクラス編成に移行してからも、一人ひとりの情緒や発達に留意して環境設定と育成内容を吟味していく。

また、学童退園後の放課後生活など育児相談にも積極的に応じながら、成長の喜びを保護者と共有していきたい。その他、小学校との連携・地域の教育・健全育成に貢献できるよう職員一同で取り組んでいきたい。

基本方針 ～安心・安全な学童クラブを目指して～

- 1、 ほっと安心でき楽しい学童 ～「ただいま!」「おかえり!」を大切に～
- 2、 小学生の喜ぶ遊びの充実 ～遊び中心、子ども主体の保育～
- 3、 安全な環境づくり ～安全で過ごしやすい空間づくり～ ～帰り道に気を付けて!～
- 4、 個別に対応が必要な児童への適切な関わり ～安心して過ごせる居場所に～
- 5、 保護者が安心して就労できる学童 ～何でも話し合える信頼関係を～

年間行事

- 4月 1年生歓迎会、交通安全指導
 - 5月 高学年クラス春の遠足（学校振替休業日に予定）
 - 6月 低学年クラス春の遠足（学校振替休業日に予定）
 - 7月 夏休み開始、水遊びなど様々な遊び、高学年海水浴、低学年里山遊び遠足
 - 8月 やまびこキャンプ（1泊2日、立山青少年自然の家、保護者ボランティア参加）
夜の肝試し
 - 9月 作品展（保護者観覧）
 - 10月 登山遠足（学校振替休業日に予定）、ハロウィン仮装行列（地域の商店や事業所等へ）
 - 11月 ミニ運動会（卒園児童参加）
 - 12月 冬休み、クリスマス会
 - 1月 雪遊び/スキー遠足、新年お楽しみ会
 - 2月 学童まつり（こども園園児を招待）
 - 3月 お別れ会、下堀こども園年長児との交流会
- この他、避難訓練（年間4回予定）、誕生会、生活指導（適宜）など

登録78名	下堀園A 38名（1～2年生）		下堀園B 40名（2～6年生）	
学年別人数	1年27名	2年24名	3年19名	4～6年8名

※在籍児童の全員が堀川南小学校児童